第 76 回日本臨床眼科学会

日　時　2022 年 10 月 13 日（木）～16 日（日）
会　場　東京国際フォーラム（〒 100-0005 東京都千代田区丸の内 3-5-1）
JP タワー ホール＆カンファレンス（〒 100-0005 東京都千代田区丸の内 2-7-2）
学会長　飯田知弘（東女医大）
副学会長　福下公子（東京都眼科医会）
プログラム委員長　瓶井資弘（愛知医大）
テーマ　「継承と創造，そして未来へ」
プログラム　特別講演
「緑内障眼における前房隅角の病態診断と治療介入」久保田敏昭（大分大）
「網膜静脈閉塞症の病態理解と治療戦略」辻川明孝（京都大）
招待講演
「The development of innovations in ophthalmology」Eugene de Juan Jr（University of California, San Francisco, USA）
「オートファジーから見えてきた細胞像」大隅良典（東京工業大・科学技術創成研究院・細胞制御工学研究センター）
シンポジウム
「前眼部・外眼部外傷の攻略法 Pit & Falls」
「エビデンスに基づく新しい診療ガイドライン」
「難治性緑内障の治療戦略」
「低侵襲緑内障手術のファクトチェック～理想と現実」
「Beyond コロナ時代の糖尿病網膜症診療」
「抗 VEGF 療法の限界・問題点と対策」
「眼感染症におけるニューウェーブ」
「眼内リンパ腫の診断と治療のアップデート」
「小児眼科検査を考える」
「チャレンジ視機能評価」
「網膜疾患・緑内障薬物治療の新しい局面」
「視覚障害者が活用する ICT 機器」
「眼科医療と眼鏡作製技能士国家検定資格―眼鏡技術者と眼科医の連携を考察する」
「特定健診における眼底検査のリポジショニング」
「眼内レンズの今」
「継承と創造，そして未来へ―黄斑疾患」
「継承と創造，そして未来へ－網脈絡膜疾患」
「継承と創造，そして未来へ―角膜疾患」
「継承と創造，そして未来へ―緑内障」
「眼科啓発活動への期待と展望」
視能訓練士プログラム
「超高齢社会に向けた視能訓練士の役割を考える」
病医院運営プログラム
「GIGA スクール構想にむけた眼科医の役割」
ナーシングプログラム
「コロナ禍において，今までと何が違う？―眼科看護のヒト・モノ・情報を見出す」
一般講演，学術展示，インストラクションコース，共催セミナー，市民公開講座
事前参加登録　2022 年 3 月 1 日（火）12：00 ～ 8 月 16 日（火）12：00

©IGAKU-SHOIN Ltd, 2022

2026/10/12 21:41:36

参加登録費

参加区分	事前登録	当日登録
医師	18,000 円	25,000 円
研修医※1 〔新臨床研修医制度 4 年目（後期研修 2 年目）まで〕	5,000 円	10,000 円
大学院生，留学生，コ・メディカル※1	5,000 円	10,000 円
コ・メディカルサンデーパス〔10/16（日）のみ参加〕※1	—	3,000 円
非医師・民間研究員	18,000 円	25,000 円
学生（医療系）・初期研修医※1,2	無料	無料
抄録集発送費用	1,000 円	

※1：「研修医」，「大学院生，留学生，コ・メディカル」，「コ・メディカルサンデーパス［10 月 16 日（日）のみ参加］」，「学生（医療系）・初期研修医」は，主任教授または所属長等の証明書または学生証の写しが必要です。
※2：「学生（医療系），初期研修医」の無料参加区分の方は，抄録代は含まれておりません。ご希望の場合は，会期当日にご購入ください。（抄録集：1 冊　5,000 円）

ホームページ https://convention.jtbcom.co.jp/76ringan/index.html

運営事務局 株式会社 JTB コミュニケーションデザイン　事業共創部コンベンション第二事業局内（〒 541-0056 大阪市中央区久太郎町 2-1-25 JTB ビル 8 階）
E-mail：76ringan@jtbcom.co.jp
※運営事務局は在宅勤務をしております。お問い合わせはメールでお願いします。

第 59 回六大学合同眼科研究会

日　時 2022 年 9 月 3 日（土）13 時 30 分　開会予定

会　場 九州大学医学部百年講堂大ホール

特別講演 西口康二（名古屋大学大学院医学系研究科眼科学分野教授）

一般演題募集 演題締切は 2022 年 8 月 8 日（月）必着。演題名・氏名（連名の場合は演者に○）・所属・所在地を記入。コンピュータ出力によるデジタルプレゼンテーションのみ。プロジェクターは 1 面で，出力は XGA（1024×768）。講演者は講演 30 分前までに PC 受付にデータまたはコンピュータをご持参すること。Microsoft Power Point または Apple Keynote を使用すること。データは USB フラッシュメモリーで受け付け。ムービー使用の際は自身のパソコンを使うこと。講演時間は 7 分。

申込先 九州大学眼科学教室（〒 812-8582　福岡市東区馬出 3-1-1）　医局長：納富昭司
Tel.092-642-5648　Fax.092-642-5663　E-mail：oculus@med.kyushu-u.ac.jp
研究会は日眼生涯教育事業（1 日 3 単位）に認定されている。

第 141 回青森眼科集談会（日眼生涯教育事業　No. 59060）

日　時 2022 年 9 月 25 日（日）9：30～15：00

会　場 弘前大学医学部健康未来イノベーションセンター（〒 036-8562　弘前市在府町 5）

特別講演 演者：上野真治（弘前大）

演題募集締切 8 月 19 日（金）

連絡先 弘前大学大学院医学研究科眼科学講座（〒 036-8562　弘前市在府町 5）
責任者：上野真治　講座事務局：田澤美賀子
Tel. 0172-39-5095　Fax. 0172-37-5735　E-mail：retina@hirosaki-u.ac.jp

2026/10/12 21:41:36

第 33 回日本緑内障学会

日　時　2022 年 9 月 16 日（金）～18 日（日）
会　場　パシフィコ横浜（〒220-0012　横浜市西区みなとみらい 1-1-1）
会　長　鈴木康之（東海大）
副会長　宇津見義一（神奈川県眼科医会）
テーマ　緑内障研究の地平
プログラム　須田記念講演「緑内障の構造から機能へ，そして QOL へ」福地健郎（新潟大）
招待講演「New Insight into the Pathogenesis of Glaucoma」Ki Ho Park（Seoul National University, Korea）
特別講演「イメージングによる脳神経回路の発達とその障害の理解」岡部繁男（東京大・神経細胞生物学）
特別セッション　Japan Asia Symposium（English Session）：「MIGS in Asia!」
シンポジウム
「濾過手術の適応を考える 2022」
「Neuroscience から見た緑内障」
「PACS の治療介入　～To do or not to do, that is the question～」
「点眼アドヒアランスと緑内障長期管理」
「新しい視点からの低侵襲緑内障手術の評価　MIGS from new viewpoints」
「緑内障病態にかかわる細胞間ネットワーク」
「緑内障ゲノム研究の臨床応用」
「緑内障治療：眼圧下降だけで十分ですか？」
「次世代画像検査と緑内障診療」
「緑内障診療研究への AI の活用の実情と今後」
「新しい緑内障診療のスタイル：オンライン診療，訪問診療など」
「患者依存の少ない緑内障診療の最新事情」
「緑内障視野―検査と評価の最新アップデート」
教育講演
「最短最速でおさらいする緑内障治療」
「緑内障術後管理，合併症からのリカバリー」
「緑内障早期診断の意義と課題」
「現在眼科診療における視神経乳頭の見方と活用」
研修医・コメディカルプログラム
「OCT による緑内障診療」
「緑内障診療における重要課題とエビデンス」
データ解析委員会特別セッション/研究プロジェクト 支援事業報告
一般演題〔口演・e ポスター（ショートトークあり）〕
共催セミナー（モーニング・ランチョン・イブニング）
市民公開講座
事前参加登録期間　2022 年 4 月 5 日（火）～8 月 8 日（月）

2026/10/12 21:41:36

事前参加登録費

区分		事前参加登録	当日参加登録
医師・教育研究機関研究員	会員	15,000 円	20,000 円
	非会員	18,000 円	23,000 円
企業職員		18,000 円	22,000 円
メディカルスタッフ*	会員	6,000 円	8,000 円
	非会員	8,000 円	10,000 円
研修医*		8,000 円	10,000 円
学生（大学院生を除く）		無料	

＊新臨床研修医制度 3 年目（後期研修 1 年目）まで
＊メディカルスタッフ・研修医の方は，所属長の証明が必要

学会ホームページ http://www.congre.co.jp/jgs2022/
事務局 東海大学医学部医学科専門診療学系眼科学（〒259-1193　伊勢原市下糟屋 143）
運営事務局 株式会社コングレ（〒103-8276　東京都中央区日本橋 3-10-5　オンワードパークビルディング）
Tel. 03-3510-3701　Fax. 03-3510-3702　E-mail：jgs2022@congre.co.jp

第 42 回日本眼薬理学会

日　時 2022 年 10 月 29 日（土）・30 日（日）
会　場 奈良春日野国際フォーラム　甍～I・RA・KA～（〒 630-8212　奈良市春日野町 101）
会　長 松木　雄（参天製薬株式会社）
主　催 参天製薬株式会社製品開発本部
プログラム（予定）
特別講演
「角膜難治性疾患の基礎と臨床」座長：村上　晶（順天大），演者：西田幸二（大阪大）
「眼薬理の基礎研究と臨床応用への展望」座長：相原　一（東京大），演者：嶋澤雅光（岐阜薬科大・薬効解析学）
シンポジウム
「視覚再生/オプトジェネティクスと創薬」「遺伝性網膜疾患の臨床と創薬の展望」「アドヒアランス～確実な薬効発現のために～」
学会奨励賞選考，一般演題，共催セミナー，企業展示他

事前参加登録期間 2022 年 5 月 12 日（木）～8 月 31 日（水）

参加登録費

区分	事前登録	当日登録
会員	6,000 円	8,000 円
非会員・企業	8,000 円	10,000 円
学生	2,000 円	2,000 円

ホームページ https://convention.jtbcom.co.jp/jsop42/
問い合わせ先 第 42 回日本眼薬理学会運営事務局
株式会社 JTB コミュニケーションデザイン　事業共創部 コンベンション第二事業局内
（〒 541-0056　大阪市中央区久太郎町 2-1-25　JTB ビル 8F）　E-mail：jsop42@jtbcom.co.jp
新型コロナウイルスの感染拡大防止のためテレワークを実施中です。
ご連絡はメールにてお願いします。

2026/10/12 21:41:36

第 251 回 O.C.C.

日　時　2022 年 11 月 5 日（土）14：00〜17：00
会　場　第二吉本ビルディング（〒 530-0001　大阪市北区梅田 2-2-2 ヒルトンプラザウエスト・オフィスタワー 8 階）
テーマ　緑内障診療 2022（仮）
話題提供者は 8 月 31 日までに下記へ FAX にてお申し込みください。
連絡先　大阪大学大学院医学系研究科眼科学教室
Tel. 06-6879-3456　Fax. 06-6879-3458

第 20 回近畿弱視斜視アフタヌーンセミナー

日　時　2023 年 2 月 18 日（土）14：00〜18：00
会　場　千里ライフサイエンスセンター 山村雄一記念ライフホール
北大阪急行電鉄（地下鉄御堂筋線）千里中央駅 北改札口 1 分
テーマ　弱視・斜視の基礎と最新情報シリーズ　弱視・斜視の基礎・臨床と最新情報―その 5
プログラム　講演
「急性内斜視の診断と治療」木村亜紀子（兵庫医大）
「外斜視手術効果の持続性」野村耕治（兵庫県立こども病院）
「弱視の診断と治療時期」初川嘉一（大阪母子医療センター）
「乳幼時眼科健診」杉山能子（金沢大）
ワークショップ「レチノスコピー」全メンバー
会　費　医師 3,000 円・非医師 1,000 円
主　催　近畿弱視斜視研究会（遠藤高生，不二門尚，木村亜紀子，雲井弥生，初川嘉一，稗田　牧，三宅三平，森本　壮，村木早苗，野村耕治，近江源次郎，佐々本研二，白井久美，菅澤　淳，杉山能子，築留英之，内海　隆，横山　連）（以上 18 名・ABC 順），参天製薬株式会社
事務局　内海　隆（医療法人内海眼科医院　Tel. 072-626-1223）
おことわり　コロナ禍の状況によっては Zoom 開催に変更したり，ワークショップが教育ビデオ視聴に変わることがあります。判明次第，案内させていただきます。

2026/10/12 21:41:36